



録音前の原稿確認を行う芳賀幸子さん

「毎月第4火曜日が定例会及び勉強会の日になっており、1日かけて行います。一昨までは、取手市から講師を招き勉強会を開催していましたが、昨年度からは、メンバー各々の経験を生かすために自分たちで行うようになりました。」

私とメンバーの芳賀幸子さんは、25年位前からNHK柏朗読教室に通い、元プロのアナウンサーから月2回朗読の講義を受けています。学んだことを勉強会で伝達することもあります。」と齊木さん。

常に向上心を持ちながら、活動に取り組みみなさんだからこそ、聞く方の耳に馴染む朗読ができるようです。

よしきりは、録音テープの配布のほか、町内の高齢者施設や自治会などに伺い、訪問朗読を実施しています。また、朗読会の開催やよしきりの活動の成果を込めた、テープ機関紙「さえぎり」を年1回春頃に発行し、希望者にお渡ししています。

朗読会やテープ機関紙の発行



代表の齊木良子さん



利根町文化センターにて定例会・勉強会の様子



届けます！あたたかみのある声の広報

シリーズ まち・ひと・しごと #30
利根町朗読サークル「よしきり」



録音するときの合図や録音後のテープチェックも大事な仕事

よしきりには信頼と絆がある

メンバーの方たちに「よしきり」についてお話を伺うと、「利用者の方から喜んでいただけたら、ご意見を聞けるのは、ありがたいなと思います。その声が、私たちの活動のエネルギーになっていきます。」

メンバー全員朗読が好きなんです。朗読って読む人によって本の解釈が違ってくるので、議論になることも多いんですけど、お互いに信頼や絆があるから納得するまで議論ができます。

また、グループの雰囲気も良いです。各々の事情でサークルを辞めた人たちもいますけど、朗読会には必ず足を運んでくれて良い関係を継続できています。」とそれぞれの感想を、笑いを交えながら答えてくれました。

メンバー全員「朗読が好き」ということが芯にあるからこそ、信頼や絆を築くことができたのかもしれない。

利根町には、「声の広報」を届けると素敵な活動をしている方たちがいます。

今回のシリーズまち・ひと・しごととは、高齢者の方や目の不自由な方のために「広報とね」や「議会だより」「社協だより」を朗読し、録音したカセットテープを自分たちで利用者にお届けしている「利根町朗読サークルよしきり」をご紹介します。

出会いは社協のボランティア募集

声の広報を届け、今年で活動25周年を迎える利根町朗読サークルよしきりは、現在9名で活動をしています。

よしきりについて、代表を務める齊木良子さんは、「平成6年頃、利根町社会福祉協議会が朗読ボランティアを募集して講習会を開催したんです。そこに集まったメンバーで『自分たちのグループを作ろう』となり、平成8年10月に『よしきり』を立ち上げました。」



朗読で大切なのは、中身を伝えることなんだそう

たくさんの方に声を届けたい

今後について齊木さんは「メンバーみんな朗読が好きで声を出すことが好きなんです。これからもこの活動を続け、よしきりのことを知ってもらい、『広報とね』を含め、多くの方に私たちの朗読を聞いてもらいたいです。ご要望があれば訪問朗読にも伺います。」

また、声を出して読むことは、身体や認知機能にも良いと言われていきます。本が好きで朗読をしたい方はぜひ一緒に活動しましょう。」と話してくださいます。

取材の中で、「ボランティアグループは、中心になる人物が重要で、柱が揺るがないことが大切なんです。柱になる人がいて、それを支える人間がいるからグループが成り立つんです。」という言葉をメンバーの方や齊木さんから教えていただきました。

まさに、「よしきり」の25年の歴史を象徴するような言葉で、とても印象的でした。みなさんも、ぜひ「利根町朗読サークルよしきり」の声を聞いてみてください。

よしきりのみなさんの声で広報紙や作品を聞くと、ご自身がイメージしたものとは違う感覚を、体感することができるとは思いません。

よしきり・利根町社会福祉協議会からのお知らせ

利根町朗読サークル「よしきり」25周年記念朗読会

藤沢周平の「木曾の旅人」や川口松太郎「紅梅振袖」などをはじめ、さまざまなジャンルの朗読を行います。お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。

- ▶日時 令和2年11月24日(火)
- ▶開演 13時00分(開場:12時30分)
- ▶場所 利根町図書館2階 多目的ホール
- ▶参加費 無料
- ▶問い合わせ先 齊木良子 ☎0297-68-5070



声の広報のご利用について

- ▶利用できる方 目の不自由な方、高齢の方で文字が読みづらい方など
- ▶利用料 無料
- ▶配布日 毎月第2火曜日または水曜日
- ▶申し込み・問い合わせ・ボランティアについて 利根町社会福祉協議会 ☎0297-68-7771



定例の活動は、毎月第2火曜日に、すこやか交流センターのボランティア室で「広報とね」などをカセットテープに録音しています。1班5名で録音し、編集も含めて4〜5時間程度かかります。

現在は、ご高齢者の方4名にお届けしており、その内1名は町外の方なんです。町内の方はもちろん、ご希望があれば、町外の方にもお届けします。録音した当日、または翌日には届けるようにしています。」と話してくださいました。

カセットテープを使っている理由は、利用されている方たちに馴染みが深いからだそうです。



録音中は、3名の方がアクセントの違いや読み間違いなどのチェックを行う